『教育デザイン研究』第９号

巻頭言

これからの教育のために　杉山久仁子　1

特別寄稿

教職大学院の理念とデザイン　髙木まさき・野中　陽一・脇本　健弘・泉　真由子　3

教職大学院の動向と新学習指導要領への対応　石塚　等　9

論　文

いじめの予防・停止にかかわる諸要因の検討　関　真伍・鈴木　朋子・堀井　俊章　15

児童期における学校生活不安と親友観との関係　山本紗矢香・堀井　俊章　23

本文比較による『源氏物語』教材化の可能性　―「若紫」巻を用いて―　安野　葵　32

「見ること」を重視した小学校の伝統的な言語文化の授業　―狂言の体験を通じて―　小林　和馬　42

生徒と教室外のコミュニティをつなぐことによる多面的な読みの動機づけ　岩田　晴之　52

～高等学校の文学教育における SNS 活用の試み～

国語の教師力向上に資する指導主事の関与の在り方に関する研究　本間　隆司　61

デリダのフッサール読解　―『「幾何学の起源」序説』から『声と現象』へ―　堀内　友博　71

ルーマンのシステム論における「全人格」概念に関する研究　劉　博昊　81

経済教育における内容構成についての経済学的検討　―教科書分析を通じて―　片岡　浩二　91

サッカーにおける攻撃戦術尺度の作成と妥当性の検討　武者　尚志・山本　光・清水　優菜　100

―レアルマドリードを対象とした分析―

教員養成課程の学生に対するε－ N 論法の概念理解の研究　成田　竜也・山本　光・清水　優菜　110

～チェザロ平均の教材としての有効性～

三角比の導入の授業展開に関する事例的研究　浅野　剛史　117

微分・積分の逆関係を捉えるための指導に関する考察　阿部　右京　126

～「數學　第一類」の教科書の分析を通して～

正負の数の乗法の構成的指導とその具体的な場面に関する研究　大江　将史　136

身近な魚類の耳石の教材化について　伊東眞由子・平野　幸希　144

理科における能動的な概念構築の実態とそれを促す教授方略に関する研究

佐野　菜実・宮村　連理・和田　一郎　154

理科学習におけるメタ認知機能を促進する教授要素に関する研究　猪口　達也・宮村　連理・和田　一郎　162

対話的な理科授業における子どもの思考・表現の質的変容の分析と評価に関する研究

大木　裕未・長沼　武志・和田　一郎　172

教育ボランティア活動と大学生の教師力向上との結び付きに関する一考察　鬼藤　明仁　180

－横浜国立大学の学生の活動における「ものづくり事例」と学生調査－

家庭科関連研修と教員支援にみる現状と課題　堀内かおる　187

―教員養成系大学家庭科教育担当教員への調査から―

『ソーシャルアートとしての音楽の力　西山　颯　194

――東京レインボープライド 2017 にみる音楽実践への参加過程と参加者の関係性――』

3.11 以後 －ソーシャルプラクティスに向かうアートと教育　細野　泰久　204

災害時における障害のある子どもとその家族の抱える困難・ニーズの検討　五島　脩・泉　真由子　214

－聴覚障害に焦点を当てて－

横浜市と上海市の教員スタンダード及び教員研修システムの比較　野中　陽一・胡　啓慧　222

高等学校におけるインクルーシブな学校組織づくり　持田　訓子　232

－教育相談コーディネーターに関する調査からの一考察－

調査報告

2016（平成 28）年度学校教育課程在籍者・2017（平成 29）年度入学生への進路意識調査

重松　克也・筆安　弘徳　242

平成 28 年度教育実践専攻在籍生への進路意識調査　斉田　智里・馬場　裕・鈴木　雅之　247

教育デザインフォーラム学生発表会

発表会に関する小委員会報告　教育デザイン小委員会　254

ポスター発表の要旨（29 題）　学生発表者　255

教職大学院

中間発表の要旨（11 題）　285

編集後記　298